

デジタルに関する取り組み

デジタル戦略について

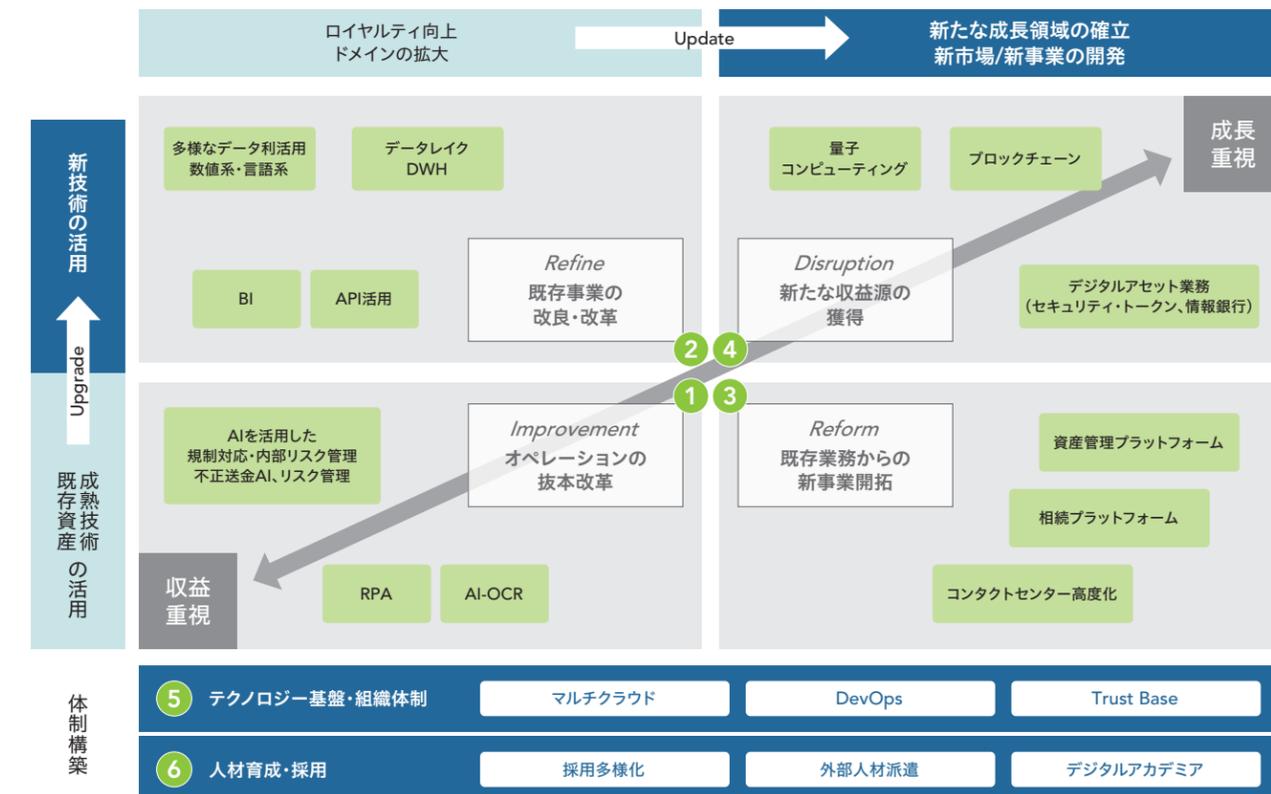
2020年度からの中期経営計画において、デジタル戦略では「6つの戦略領域」を設定しています。

成熟した技術や既存資産を活用してオペレーションの抜本改革などを追求する「①Improvement」、新技術活用や新資産獲得によって既存事業に磨きをかける「②Refine」、既存の強みや資産を転用して新たな市場や事業を開拓する「③Reform」、そして、新技術を活用して新たな成長領域の確立を追求する「④Disruption」、これら4領域を並行して推進しています。

また、①～④の領域における各プロジェクトをスピーディかつ俊敏に推進するためには、体制面も同時に強化し続ける必要があります。「⑤テクノロジー基盤・組織体制」と、「⑥人材育成・採用」は中長期的に取り組むべき重要な戦略領域と位置付けています。

2021年4月に設立したデジタル戦略子会社であるTrust Base株式会社(以下、「Trust Base」)は、グループ会社や三井住友信託銀行の事業を横断したDX戦略を一手に担い、デジタル化を加速させる起点となっています。

6つの戦略領域



Trust Baseでは三井住友信託銀行とは独立したシステム開発環境を構築し、業務ルールも簡素化することで、変化の激しいデジタル分野で、機動力のある業務運営を実現し、グループデジタル戦略推進に加え、変革の起点という役割を果たしています。



デジタルアセットの取り組み

分散台帳技術の発展を契機として、ST(セキュリティ・トークン)などのデジタルアセット分野に注目が集まっており、既存の手法では難しかった資産の証券化や小口化が可能になるなど、多様な商品・サービスへの拡大が期待されています。当グループでも多様化する投資家ニーズに応えるために、他

社と協業したプラットフォーム上でのセキュリティ・トークン発行の実証実験や、ブロックチェーンを活用した権利移転の仕組み構築など、信託銀行グループとしての強みとデジタル技術を掛け合わせ、より利便性の高い商品を提供できるよう、具体的な取り組みを進めています。

データ利活用の取り組み

当グループは銀行、不動産、年金、証券代行など多様な事業領域で、数多くの商品・サービスを提供し、その取引から多岐にわたるデータが蓄積されています。当グループはデータ利活用を経営インフラと位置付け、個人や法人のお客さまの多様なニーズをより正確、的確に把握し、お客さまに満足いただけるトータルソリューションの開発に注力しています。

たとえば、AIを活用した事例を紹介すると、個人のお客さまには投資信託や預金、保険等のお取引情報を分析し、最適な商品・サービスを予測するモデルを開発したり、法人のお客さまには当社社員とのやり取りの記録を分析し、テキストデータから新たな営業機会を創出するなど、コンサルティングやサービスの高度化に向けた取り組みを進めています。

デジタル人材育成の取り組み

近年の急速なデジタル化の進展によるビジネスモデルの変化に伴い、IT・デジタルスキルは業務遂行上、必須のスキルと認識し、当社でも全社ベースでリスクリテラシーを推進しています。KPIとして2025年までに社員の半数がデジタル基礎教養を継続的に習得し、オンライン教育プラットフォーム(Udemy)のアクティブ比率を50%、AWS認定資格保有者を500名まで拡大することを掲げています。具体的な取り

組みとして、希望者全員にUdemyのアカウントを配布することに加え、集合研修プログラムをGoogle、AWSなどの外部パートナーと協働し拡充させています。



ワークショップの様子

TOPICS 「DX認定事業者」の認定取得について

デジタル化の推進を加速させることと並行して、ガバナンス体制の確立に向けた取り組みも進めています。その取り組みの一環として、経済産業省策定のデジタルガバナンスコードに基づき、優良な取り組みを実施している事業者として、情報処理推進機構(IPA)が認定する「DX認定制度」において当グループも2022年5月に「DX認定事業者」の認定を取得しました。